

# 平成28年度さくら写真コンクール入賞作品選評

## 「総 評」

今年の応募作品は、

「静岡県内の桜部門」	459 点	(前年度 594 点)
「富士山と桜部門」	148 点	(前年度 159 点)
合 計	607 点	(前年度 753 点)

今年度の桜の開花時期は例年より遅れ気味でしたが、天候にも恵まれた日が続き撮影条件も良かったものと思います。

応募作品の内容を見ますと、昨年度より応募作品の返却を止めたことも原因と思われるが、応募点数が両部門とも減少しております。

しかし、応募作品の全体的なレベルは高く、作者の撮影に対する熱意が伝わってくる素晴らしい作品が多く見受けられました。

特に、最優秀賞になった作品は、従来の殻から脱却した、オリジナルな表現に挑戦したものでありとても新鮮な作品になっています。

写真は現実の風景や風物、人物などを借りて自分の感情や感動を表現するもので、目の前の物をただ写しただけではなかなか他人を感動させる作品はできにくいと思います。

今後も独自の新しい表現に挑戦した素晴らしい作品の応募を期待したいと思います。

	<b>最優秀賞</b>	
	部門	部門共通
	作品名	星降る夜の山桜
	撮影地	島田市牛代地区
	撮影者	後藤正徳 (掛川市)
<p>&lt;選評&gt; 今年の応募作品の中でこの場所の桜が一番多かったのですが、夜の星空と桜を組み合わせたものは他にはなく、茶畑の中に浮かぶ一本の桜と満天の星の軌跡が写されています。 天体写真で星の軌跡を長時間露出で撮影した写真はよく見かけますが、桜の木と組み合わせているのは、このコンテストの為に挑戦して撮影されたものと思われ、作者の熱意と努力の成果で感動が伝わってきます。 欲を言えば画面右の防霜ファンをカットし、なおかつ星の軌跡が多すぎて画面上部が重すぎますので、画面上部 1/4 位をカットすると桜の木の存在感も大きくなって桜がメインになります。</p>		

「静岡県内の桜」部門

	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特 選</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作品名</td> <td>花見舟を楽しむ</td> </tr> <tr> <td>撮影地</td> <td>賀茂郡松崎町那賀川</td> </tr> <tr> <td>撮影者</td> <td>渡辺玲子 (賀茂郡松崎町)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     &lt;選評&gt;                      西伊豆松崎町那賀川の桜です。                      川の兩岸に咲く満開の桜を舟の上から楽しんでいる様子が写されています。天気も良くロケーションも最高で、カヌーボートに乗る4人の人物の気持ちの良さが伝わってくる写真になっています。                      画面構成、色調もよく春らしい良い作品だと思います。                 </td> </tr> </tbody> </table>	特 選		作品名	花見舟を楽しむ	撮影地	賀茂郡松崎町那賀川	撮影者	渡辺玲子 (賀茂郡松崎町)	<選評> 西伊豆松崎町那賀川の桜です。 川の兩岸に咲く満開の桜を舟の上から楽しんでいる様子が写されています。天気も良くロケーションも最高で、カヌーボートに乗る4人の人物の気持ちの良さが伝わってくる写真になっています。 画面構成、色調もよく春らしい良い作品だと思います。	
特 選											
作品名	花見舟を楽しむ										
撮影地	賀茂郡松崎町那賀川										
撮影者	渡辺玲子 (賀茂郡松崎町)										
<選評> 西伊豆松崎町那賀川の桜です。 川の兩岸に咲く満開の桜を舟の上から楽しんでいる様子が写されています。天気も良くロケーションも最高で、カヌーボートに乗る4人の人物の気持ちの良さが伝わってくる写真になっています。 画面構成、色調もよく春らしい良い作品だと思います。											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">準特選</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作品名</td> <td>里の春</td> </tr> <tr> <td>撮影地</td> <td>掛川市日坂</td> </tr> <tr> <td>撮影者</td> <td>松浦 昌 (掛川市)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     &lt;選評&gt;                      この写真は桜を中心に両側に二人の子供と祠を配しており、里の春としての構成要素は非常に良いと思います。                      又、撮影時の光線状態が斜光であったことも条件的によく、縄跳びをする二人の少女の表情も素晴らしいです。                      この条件の良さを見つけて、作画する作者の力量はたいしたものだと思います。                 </td> </tr> </tbody> </table>	準特選		作品名	里の春	撮影地	掛川市日坂	撮影者	松浦 昌 (掛川市)	<選評> この写真は桜を中心に両側に二人の子供と祠を配しており、里の春としての構成要素は非常に良いと思います。 又、撮影時の光線状態が斜光であったことも条件的によく、縄跳びをする二人の少女の表情も素晴らしいです。 この条件の良さを見つけて、作画する作者の力量はたいしたものだと思います。	
準特選											
作品名	里の春										
撮影地	掛川市日坂										
撮影者	松浦 昌 (掛川市)										
<選評> この写真は桜を中心に両側に二人の子供と祠を配しており、里の春としての構成要素は非常に良いと思います。 又、撮影時の光線状態が斜光であったことも条件的によく、縄跳びをする二人の少女の表情も素晴らしいです。 この条件の良さを見つけて、作画する作者の力量はたいしたものだと思います。											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">準特選</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作品名</td> <td>街のシンボル</td> </tr> <tr> <td>撮影地</td> <td>賀茂郡河津町</td> </tr> <tr> <td>撮影者</td> <td>藤井 昭浩 (賀茂郡松崎町)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     &lt;選評&gt;                      河津町のループ橋での作品です。                      この場所は、毎年応募作品がみられる場所ですが、今回は薄暮に撮影されたものでしょうか、空の明るさが残っている時間帯で桜は照明されて浮き上がっています。                      桜のピンクと空のブルーがバランスよく調和している素晴らしい作品です。                 </td> </tr> </tbody> </table>	準特選		作品名	街のシンボル	撮影地	賀茂郡河津町	撮影者	藤井 昭浩 (賀茂郡松崎町)	<選評> 河津町のループ橋での作品です。 この場所は、毎年応募作品がみられる場所ですが、今回は薄暮に撮影されたものでしょうか、空の明るさが残っている時間帯で桜は照明されて浮き上がっています。 桜のピンクと空のブルーがバランスよく調和している素晴らしい作品です。	
準特選											
作品名	街のシンボル										
撮影地	賀茂郡河津町										
撮影者	藤井 昭浩 (賀茂郡松崎町)										
<選評> 河津町のループ橋での作品です。 この場所は、毎年応募作品がみられる場所ですが、今回は薄暮に撮影されたものでしょうか、空の明るさが残っている時間帯で桜は照明されて浮き上がっています。 桜のピンクと空のブルーがバランスよく調和している素晴らしい作品です。											

# 「富士山と桜」部門

	特 選	
	作品名	陽春の彩り
	撮影地	富士宮 富士桜自然墓地公園
	撮影者	岡本芳隆 (神奈川県横須賀市)
<p>&lt;選評&gt; この部門は富士山を必ず入れる作画であることから、撮影ポイントも決まってくるため毎年同じような作品が応募されてきます。その中でも撮影技術の高い人の作品が残ってきます。 この作品も画面構成や前景から遠景までのピントの深さ、露出の正確さなどから、写真の訴える力が強く見る側に響いてきます。</p>		
	準特選	
	作品名	桜色の波の中に
	撮影地	富士宮市上井出
	撮影者	加藤 昇 (富士宮市)
<p>&lt;選評&gt; 題名のように、満開の桜の枝ぶりが波濤のように流れており、その中に富士山が浮かび上がっているようにも見えてきます。 露出を切り詰めたためか、桜の花の色調が沈んでいるのが少し惜しいと感じます。</p>		
	準特選	
	作品名	海辺の彩り
	撮影地	伊豆市八木沢
	撮影者	佐藤美栄子 (神奈川県茅ヶ崎市)
<p>&lt;選評&gt; オーソドックスな画面構成であるが、前面の桜とブルーの海と空の色が調和した配色が春らしい雰囲気をよく出しています。 カーフェリーの船を入れたのも点景として効いています。</p>		



特別賞（道路利用者会議会長賞）

作品名 桜と新東名

撮影地 浜松市北区都田町

撮影者 大杉 巖  
(浜松市北区)

<選評>

道路利用者会議会長賞です。

満開の桜と新東名道路の橋脚を組み合わせています。

橋を吊っているロープの形も面白く、良い場所を見つけられています。

入 選（静岡県内の桜部門）



作品名 尾根の彩り  
 撮影地 葵区入島  
 撮影者 山田 英雄

作品名 春の木屋川さくら祭り。  
 撮影地 焼津さくらの名所～木屋川  
 撮影者 片岡 好志



作品名 過密社会  
 撮影地 川根本町奥泉  
 撮影者 鈴木 和枝

作品名 蒼刻  
 撮影地 島田市川根町家山  
 撮影者 山下 弘倫

入 選（静岡県内の桜部門）



作品名	雨上がり
撮影地	浜松市天竜区龍山
撮影者	吉田 峯治

入 選（富士山と桜部門）



作品名	春謳歌
撮影地	富士宮 富士桜自然墓地公園
撮影者	上野 祐司

作品名	春爛漫
撮影地	富士宮市内房
撮影者	筒井 章

入 選 (富士山と桜部門)



作品名	日本の春	作品名	春の色
撮影地	富士宮 富士桜自然墓地公園	撮影地	富士宮 富士桜自然墓地公園
撮影者	石川 金吾	撮影者	青山 秀雄



作品名	桜花爛漫
撮影地	富士市 かりがね堤
撮影者	福中 綾子

コンクールの審査は、四つ切写真での審査を行っております。  
本書に掲載している写真は、応募作品のデータですので、応募作品  
とは、色調等の相違がありますので、ご了承ください。